

教員をめざす障がいのある方へ

所属職・氏名	北海道室蘭聾学校 教諭 高橋 美優
採用年度 障がいの種別	令和2年度採用 聴覚障がい

■ 教員の志望動機

どんな困難に直面しても、諦めずに挑戦し続けることができる児童生徒を育てたいと考え、教員を志望しました。

私は、聴覚に障がいがありますが、恩師の支えや健聴者とのかかわりによって、「障がいを言い訳にせず、できることを増やす努力を続けていけば、将来の選択肢が増える」ということに気付くことができました。自分の経験を力として、児童生徒の将来の社会参加に貢献したいと思いました。

また、自分自身も常に学び続けながら、児童生徒と共に成長できる教員になりたいと考えています。

■ 1年間の勤務を終え感じたこと・新たな気づき

コロナ禍で臨時休業や行事等の中止・延期があったため、教員の忙しさを半分ほどしか経験できていません。そのため、現在2年目ですが、まだ1年目のような感覚です。

なお、自分から学ぼうとする姿勢が本当に大切だと思いました。学んだことを積極的に指導教諭などに話してアウトプットする習慣の積み重ねは、自分自身の成長につながるということに気付くことができました。

■ 教員としてのやりがい

毎日、児童とかかわり、児童が成長していく姿を見ることができるので教員としてのやりがいを感じています。毎日が驚きと新しい発見の連続でとても充実しています。

また、本校は、心理的安全性が高いので（不安や恐れを感じることなく安心して相談や意見交換ができるなど）、環境に恵まれているなと思いました。自分の障がいに対し、少なからず負い目を感じていますが、変えることのできない事実としっかり向き合いながら、自分自身を高められるように努力しています。



■ 今後、教員をめざす方へ

教員になって、後悔したことはありません。「障がい者でもできること」ではなく、「障がい者だからできること」を考えましょう。

少しでも「やってみたい」という気持ちがあるなら、ぜひ教員を目指して下さい。応援しています。